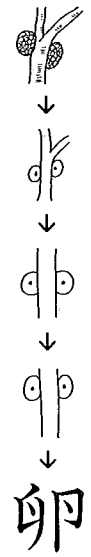


卵

六年
画数 7
筆順
オン
ラン
たまご
卵 卵 卵

成り立ち



木のえだに生みつけられた「虫のたまご」の形を表した字です。

「虫のたまご」に限らず、どんな「たまご」でもこの字で表します。しかし、「たまご」という言葉は、「玉子」という意味の言葉です。

〔蛋白質の「蛋」は、「卵」と同義の字である。わが国では「鶏卵」と言うが、中国では「鶏蛋」と言う。だから、「蛋白質」も「卵白質」と言った方が解りやすいであろう。〕

使い方

- ▽ぼくは卵焼きが大好きです。卵の料理なら、どんな料理でも好きです。
- ▽鮭という魚は、卵を産むころになると、必ず産まれた川にもどって来て、その川で産卵するそうです。
- ▽人間の体に必要な蛋白質の蛋白という言葉は、卵白と同じ言葉で、卵白は最も良質の蛋白質でできています。栄養に良いわけです。

熟語例

- ▽産卵（卵を産むこと。）
- ▽卵白（卵の白身のこと。黄身の周囲を包む、すきとあった物質のことです。）
- ▽卵黄（卵の黄身のこと。卵白に包まれた丸い球状のもののことです。）
- ▽卵殻（卵の殻のこと。卵の中身を包んで保護している固い殻のことです。）
- ▽鶏卵（鶏の卵のこと。）
- ▽卵生動物（魚や虫のように卵から生まれる動物のこと。母体の中で育って胎内から生れて来る動物のことを、「胎生動物」と言います。）

覧

六年
画数 17
筆順
オン
ラン
覧

成り立ち



「上から下を見おろす」という意味を表した「監」という字と、「見」とを組み合わせて作った字です。

もとは、「覧」でしたが、今は「覧」になりました。「監」という字が、「見張って取りしめる」という意味に使われるようになった（例監督）ため、この字に「見」を加えて、「監」のものと意味を表したのです。

高い所から見おろすことから、「身分の高い人が見物する」場合や、「見ること」を意味する「覧」に使われるようになりました。〔例高覧、天覧、照覧、観覧、遊覧、博覧、展覧、閱覧、回覧、便覧。〕

使い方

- ▽ぼくは小さい頃、遊園地の観覧車に乗った覚えがあります。地面がはるかに下に見えて、こわかったような気がします。
- ▽わたしは万国博覧会を見に連れて行ってもらったことがあります。色々な国のめずらしい物がたくさん見られて、おもしろかったです。

熟語例

- ▽高覧（他人が見ることを敬つていう言葉。「ご高覧に供します」などというふうには、つかいません。）
- ▽天覧（天皇がご覧になること。「天覧相撲に、力士一同はりきりました」などというふうには、つかいません。）
- ▽照覧（神仏がご覧になること。「神々も照覧あれ」などというふうには、つかいません。）
- ▽観覧（見ること。）
- ▽遊覧（見物してまわること。「遊覧船」など）
- ▽博覧（広く一般に見せること。また広く読書をして色々なことを知っていること。「あの人は博覧強記だ」などというふうには、つかいません。）
- ▽展覧（色々なものを広げて、広く人に見せること。）